

令和3年度事業報告

(概要)

新型コロナウイルス感染症の発症事例が、令和2年1月16日に日本国内において最初に報告されて以来2年が経過しました。この間、令和2年度に3回、令和3年度に2回の緊急事態宣言が発令されそれぞれの年において不安の中で就業を行ってきましたが、なかなか収束の気配がみられません。しかし、令和3年10月1日に緊急事態宣言が解除されてからは、ワクチン接種の効果や一人ひとりが衛生管理に気を付けたことで、感染者も少なくなり、福岡県における感染者も1ケタ台となっています。しかし、令和4年1月に入り新型のオミクロン株が主流となり爆発的な感染が広がっており、感染者数も過去最多を記録しています。そのため3回目の接種が必要となり、現在その接種が進んでいるところであり、早く収束することを願うばかりです。

このような状況下ではありましたが、今年度は緊急事態宣言の発令により公共施設などが閉鎖されたことで、その関連する就業が停止しましたが、その他の就業については停止することなく行ってきました。そのため会員から感染者が発生しないよう事務局だよりなどで周知していましたが、2名の感染者が発生しました。今後も感染対策には十分配慮していただき就業をお願いします。

令和3年度は以上のような状況にありましたが、当初の事業計画に掲げていた会員の確保については、会員数も319名となり昨年度と比較して6名の増となっています。また就業機会の確保については、新型コロナウイルス感染症の関係でワクチン接種が開始されたことで、集団接種会場の設営及び撤去作業を請負うことができました。

当期経常増減額に関しては、昨年度と比較して9,366千円ほど増となりました。これは、職員等の退職に伴い人件費等の経費が大幅に減となったことが大きな原因であると分析しています。

この結果、当期増減額は5,905千円ほど増となり、正味財産期末残高が38,638千円余となっています。

以下事業実績及び主要事業について報告します。

(実施計画に基づく事業について)

- 一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業・社会参加のための支援

1 就業開拓提供事業

(1) 受託事業（一般）

高齢者の福祉の増進を目的に、地域に密着した臨時的かつ短期的、またはその他の軽易な業務を請負もしくは委任により引き受け、職群班組織や毎月発行している事務局だよりを通して、公平な就業を提供してきました。

① 令和3年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
人	人日	%	千円
275	33,242	86.2	161,510

② 主な就業分野

職群別にみると一般作業群である草取り、草刈、清掃等が全体の57.1%となっており、続いて管理群である駐車場・駐輪場の管理や建物管理などとなっています。介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービスAは、8件の依頼がありました。

契約金額では、公共及び公社公団からの受注が約61.6%を占めています。

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供

1 労働者派遣事業

派遣労働を希望する会員を対象に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護に関する法律」に基づき、労働者派遣事業を実施しました。

① 令和3年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
人	人日	%	円
38	2,694	11.9	10,138,484

② 主な就業分野

学校給食運搬車の運転業務、中学校や一部の小学校の清掃及びその他の業務、レンタル用品の洗浄業務、民間保育所における児童の受け入れ業務及び老健施設における調理補助業務を派遣として引き続き受注することができました。

2. 有料職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において就業を斡旋する事業で、職業安定機関と連携し雇用情報等の収集や情報交換を行うものでありますが、利用者はありませんでした。

① 令和3年度実績なし

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

1. 普及啓発事業

(1) 広報活動

令和3年度は2年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や会場変更などありましたが、岡垣町役場長寿あんしん課が開催する介護保険被保険者証交付会に合わせて、新規取得者にシルバー人材センター事業の紹介や入会について説明を行いました。また、岡垣町広報や郵便局の窓口封筒及び当センターの窓開き封筒を活用して、当センターの事業紹介や入会についての広報を引き続いて行いました。その他にも、社会福祉協議会が年6回発行している「社協だより」や民間の企業が発行し町内で配布された「わお!マップ」に会員募集や就業依頼の広告を掲載し、朝日新聞や西日本新聞にもスポット的に会員募集や就業依頼の広告を掲載するとともに、社用車10台の運転席及び助手席ドアの側面を利用して、「会員募集中」の案内表示を昨年度に引き続いて行いました。

次に、全国シルバー人材センター普及啓発促進月間に合わせて町内2か所のスーパーにおいて、役職員及び会員でチラシの配布を毎年実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため2年度と同様に今年度も中止しました。また、全国統一で行われている要望活動は、岡垣町長及び岡垣町議会議長に対して理事長、事務局長において実施しました。

次に、昨年度に引き続いて入会説明会に参加した住民で、当センターの会員に未登録の人に対して、入会の働きかけを行いました。

(2) 社会参加活動

毎年5月と10月を「岡垣町シルバー人材センターの日」と定め、岡垣町役場庁舎周辺での除草・草刈り活動を5月と10月に実施し合計で156名の参加がありました。海老津駅周辺では1回の清掃活動を実施し、50名の参加がありました。その他にも三里松原内の松葉かきにも3名の会員が参加しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、一般町民

と合同による焼酎岡垣の原料となる黄金千貫の植栽・収穫作業は、昨年度と同様中止となりました。

年末には草刈班の協力により2日間で延べ42名の会員が参加し、門松を作製して岡垣町役場、岡垣サンリーアイ及びいこいの里に合計5対飾り付けを行いました。今後とも積極的に参加をお願いします。

(3) 地域交流活動

毎年開催される「まつり岡垣」においては、当センターもパレードへの参加と出店をしています。しかし令和3年度は、2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「まつり岡垣」自体が中止となりました。また、岡垣町が実施している「人権講演会」にバルーンアートの技術を習得した会員が参加していますが、今年度は依頼がなく会員が習得した技術を披露できませんでした。

2. 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業対策

安全意識高揚のため毎年安全標語を募集しています。令和3年度は、「慣れるより 初心に戻って 安全確認」が最優秀作品となり、「事務局だより」に掲載するとともに、倉庫前に標語看板を設置し会員に周知しました。また、安全就業推進委員会が定めた月々の遵守すべき事項については、毎月発行する「事務局だより」に掲載し、倉庫前の掲示板にも掲示して安全に対する意識付けを行いました。



1月4日に高倉神社にて新型コロナウイルス感染症の感染拡大に気を付けながら実施した「安全就業・健康祈願祭」において、88名の参加があり安全標語の入賞者(最優秀賞 1名、優秀賞 2名)へ表彰を行うとともに、会員の安全と健康を祈願しました。

安全就業推進委員会では、平成29年9月に発生した重篤事故を受けて9月を当センター独自の「安全就業強化月間」と定め、令和3年度も新型コロナウイルス感染症が収まってはいませんでしたが、安全パトロールを3回実施し計11か所の就業先を訪れ安全な就業を行っているかどうか確認し、指導を行うとともに安全就業啓発用ティッシュを配布しました。また期間中は、倉庫前や事務所カウンター付近にのぼり旗を掲げ、社用車全車に「強化月間」と書かれたマグネットシートを貼付し、役職員一丸となって安

全意識の高揚に努め「事故ゼロ」を目指して取り組みました。その他にも新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、7月から3月にかけて例月の安全パトロールを屋外作業中心に実施し、不安全行動などについてチェックし指導を行いました。しかし、残念ながら3件の傷害事故が発生しました。また6月から11月までの繁忙期において地域班別に実施していた無事故コンクールを、令和2年度同様14の地域班を7グループに分けて実施しました。その結果、7グループ中5グループが無事故を達成しました。

(2) 適正就業

シルバー人材センターでは、臨時的、短期的かつ軽易な作業を中心として、会員がローテーションにより就業をしています。今後もこのことを基本として様々な就業に従事することとします。

指示命令が伴う就業については、今後も派遣として就業を行えるよう依頼者とも十分に協議します。

3. 相談事業

(1) 入会説明会の実施

入会説明会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行いながら、会員拡大のため毎月第3水曜日にいこいの里において実施するとともに、臨時に2回説明会を実施しました。このことから入会説明会に55名の参加者がありました。また今年度は、退会者が21名ありましたが、入会者が27名であったことから、会員数は319名となり昨年度と比較して6名増となりました。

(2) 就業相談の実施

会員の就業等についての相談や悩みなどの個別相談を10月と2月の年2回実施しました。今年度は相談に1名の参加がありました。

4. 研修・講習事業

令和3年度は、県シ連が主催する人材確保育成事業における「介護・家事援助講習会」をいこいの里において実施し15名の受講があり、うち1名が入会いたしました。

草刈り作業中の飛び石事故を防ぐために、専門業者により草刈り班対象に草刈り安全講習会を実施し、21名の参加がありました。

当センター独自の講習会として、女性会員を主体としたメイクアップセミナーを今年度初めて開催し、13名の参加があり女性が輝き活発に就業できるようなメイクアップの方法を学びました。

子育て支援サービスの一環として取り組んでいるバルーンアートについて、当初12回の講習会を実施予定としていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、うち3回を中止し9回の実施となりましたが、技術の向上は図ることができました。しかし、「人権講演会」については開催されましたが、依頼がなく習得した技術を披露することができませんでした。

毎年実施している健康講演会は、今年度を一区切りとして岡垣町社会福祉協議会とタイアップして「終活セミナー」を実施し、第1回目は8名の参加がありましたが、2回目3回目は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため急遽中止をいたしました。そのため今回は交通安全講習会と合わせて「ひざ痛。腰痛をあきらめない！」と題して実施し、新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、どうにか開催することができ45名の参加がありました。

「女性の会」は、6名から8名の女性会員により運営され12回開催予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け8回の開催となりましたが、交流を深めることができました。

5. 調査研究事業

シルバー人材センター事業を発展させていくためには、役員が様々な事業について理解し調査して意見を述べるのが大切です。そのため役員における先進地の視察研修について、昨年度実施できなかったことから本年度再度計画していましたが、新型コロナウイルス感染症が収まる気配がなかったことから、中止をすることとしました。

